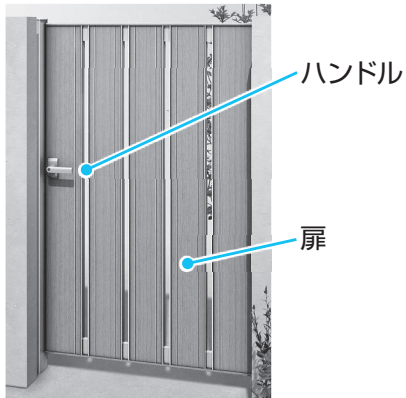


## ご使用前に確認してください

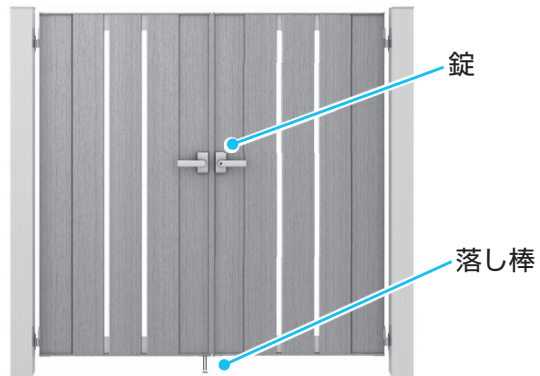
●必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

### 種類・各部の名称

#### ●片開き



#### ●両開き / 親子開き



オートクローザ (オプション)  
扉を自動的に閉める働きをします。



▶ P.53「オートクローザ (オプション)」

門扉ストッパー (オプション)  
門扉と塀および障害物の接触を防止します。

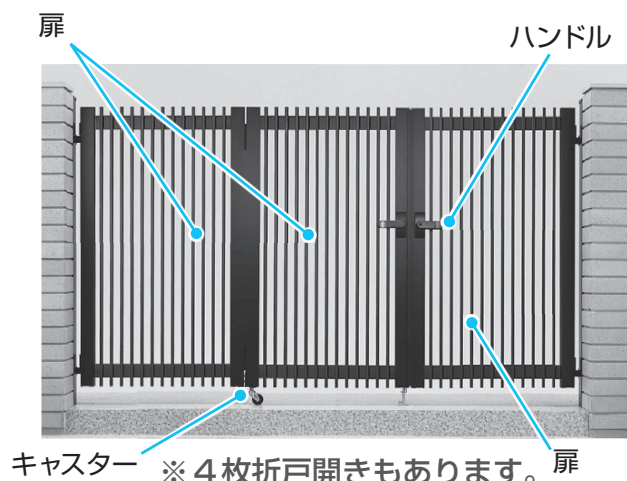


※門扉ストッパーは、門扉と塀(へい)などの障害物との接触を防止するものです。強風や強い力での開閉により門扉にへこみや変形が生じることがあります。

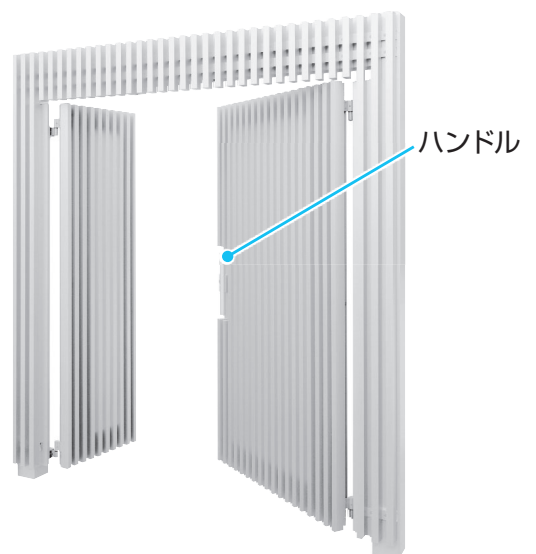
※電気錠、内外ボタン錠については、商品付属の取扱説明書をご覧ください。

#### ●3枚折戸開き

3枚の扉で構成されている門扉です。

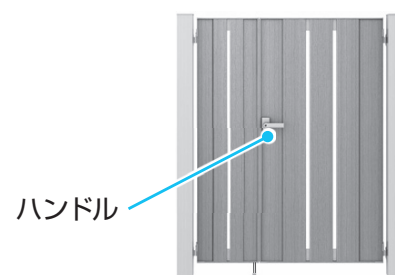


#### ●開き戸



## 門扉の使い方（外に出る時）

ハンドルや錠は種類によって操作方法が異なります。  
ここではレバーハンドル（打掛けタイプ）の内開き扉を例に説明します。



### 1 解錠する（錠付きの場合）

→ P.45「錠の種類と使い方」

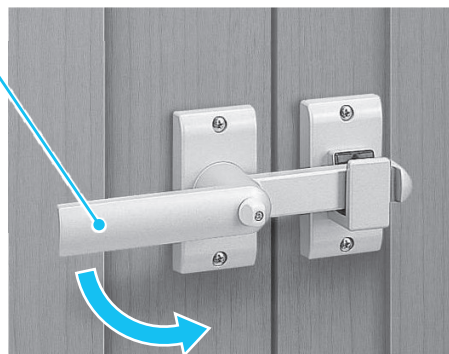
### 2 扉を開ける

ハンドルを下方方向に止まるまでまわし、扉を開けます。

※ハンドルは止まるまで確実にまわしてください。  
まわす量が少ないと扉が開かないことがあります。

その他のハンドル  
→ P.43「ハンドルの種類と使い方」

ハンドル



### 3 扉を閉める

扉を閉め、ハンドルを上方向にまわします。

ハンドル

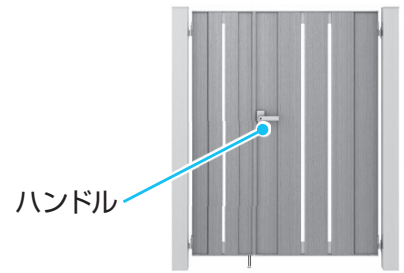


### 4 施錠する（錠付きの場合）

→ P.45「錠の種類と使い方」

# 門扉の使い方（中に入る時）

ハンドルや錠は種類によって操作方法が異なります。  
ここではレバーハンドル（打掛けタイプ）の内開き扉を例に説明します。



## 1 解錠する（錠付きの場合）

→ P.45「錠の種類と使い方」

## 2 扉を開ける

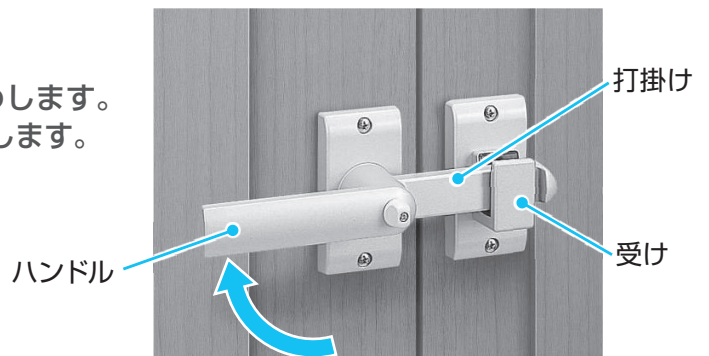
ハンドルを下方方向にまわし、扉を開けます。

その他のハンドル  
→ P.43「ハンドルの種類と使い方」



## 3 扉を閉める

扉を閉め、ハンドルを上方向にまわします。  
打掛けが受けにかかったことを確認します。


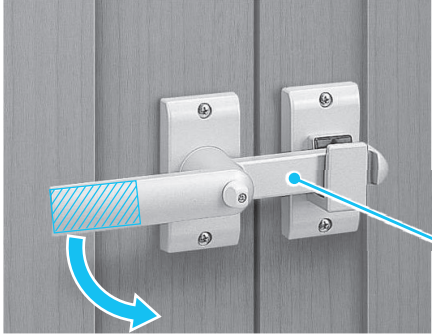


## 4 施錠する（錠付きの場合）

→ P.45「錠の種類と使い方」

## ハンドルの種類と使い方


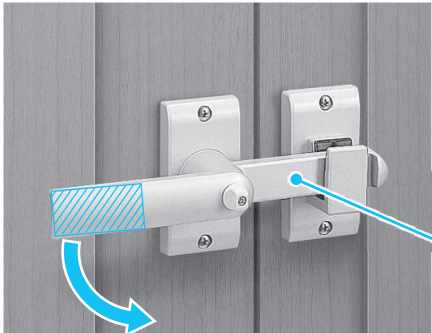
### ■レバーハンドル（打掛けタイプ） ※内開き扉の場合

道路側	家屋側
	
<p>ハンドル（斜線部分）を持ち、下方向に止まるまでまわします。</p>	<p>ハンドル（斜線部分）を持ち、下方向に止まるまでまわします。</p>

### ■レバーハンドル（打掛けタイプ） ※外開き扉の場合

#### お願い

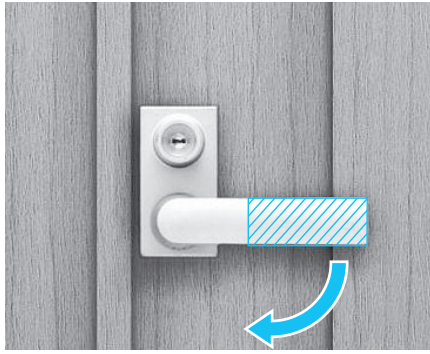
- 外開き扉の場合、レバーハンドルは、必ず 90°まわしてから開閉してください。90°まわさずに扉を開閉すると、打掛けが扉や柱にあたり、破損するおそれがあります。

道路側	家屋側
	
<p>ハンドル（斜線部分）を持ち、下方向に 90°までまわします。</p>	<p>ハンドル（斜線部分）を持ち、下方向に 90°までまわします。</p>



## ■レバーハンドル

道路側



家屋側

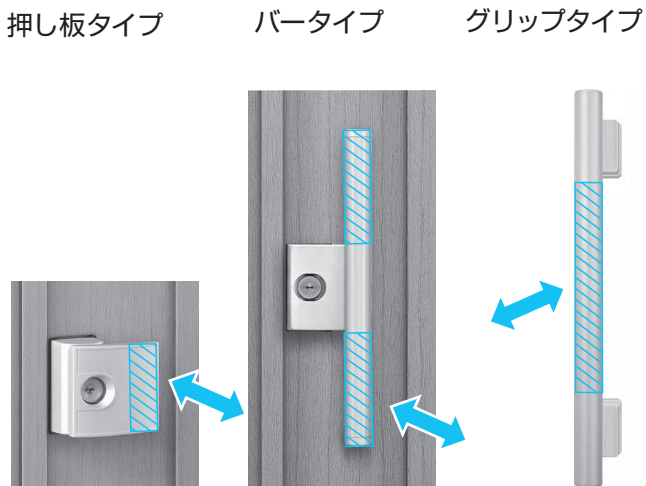


ハンドル（斜線部分）を持ち、下方向に止まるまでまわします。

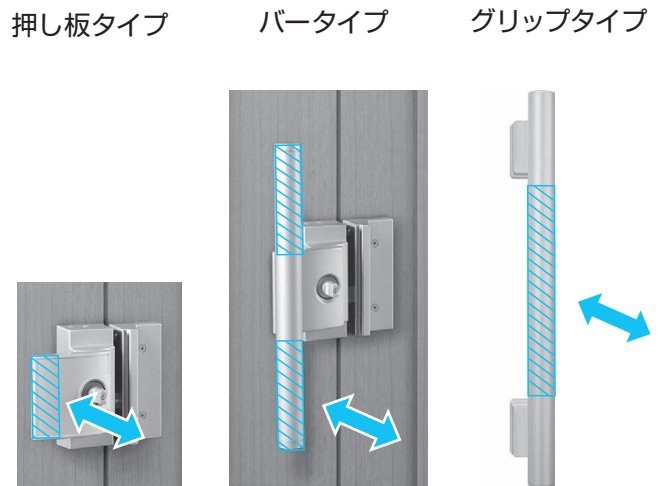
ハンドル（斜線部分）を持ち、下方向に止まるまでまわします。

## ■プッシュプルハンドル

道路側



家屋側

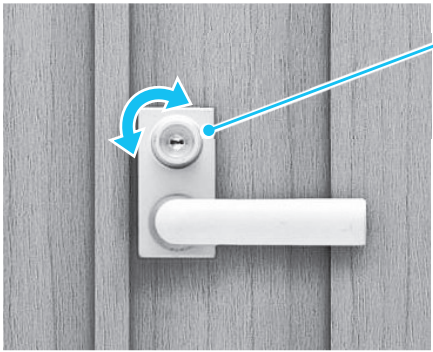
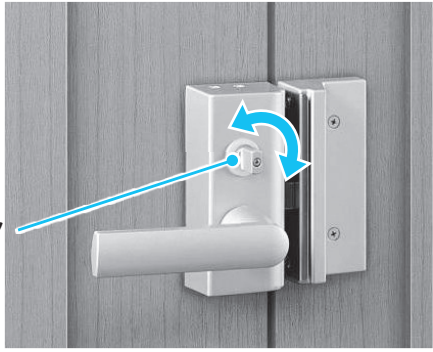
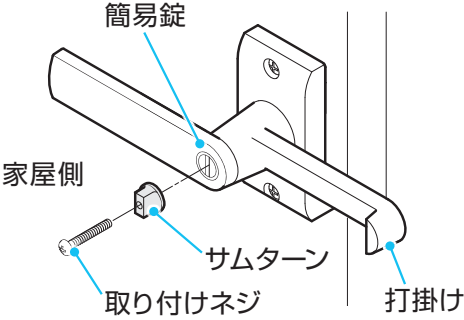


【内開き】  
ハンドル（斜線部分）を持って押します。  
【外開き】  
ハンドル（斜線部分）を持って引きます。

【内開き】  
ハンドル（斜線部分）を持って引きます。  
【外開き】  
ハンドル（斜線部分）を持って押します。

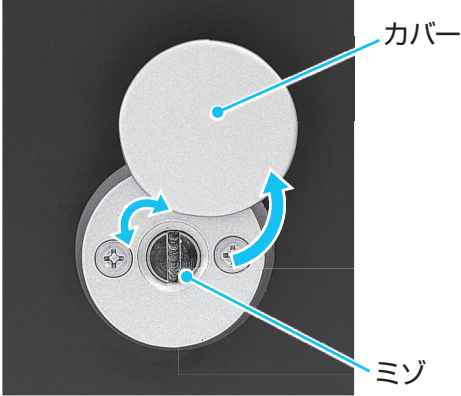
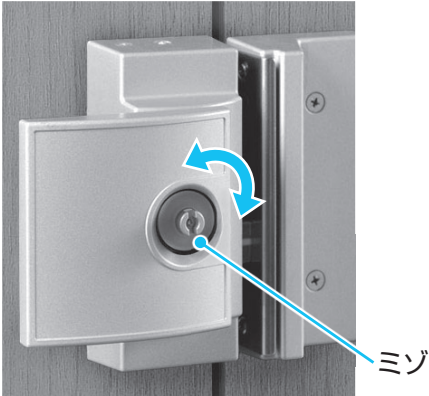
# 錠の種類と使い方

## ■シリンダー錠

道路側	家屋側
	<p>サムターンの場合</p> 
<p>カギを奥までしっかりと挿し込み、90°まわします。 カギを元の方向に戻してから抜きます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>お願い</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● カギを奥まで挿し込む前にまわさないでください。カギが破損するおそれがあります。</li> <li>● 誤ってカギを落とすなどして、砂やホコリが付着した場合は、使用前にお手入れをしてください。(→ P.119「カギ・カギ穴」)。そのままカギ穴に挿し込むと、作動不良や故障の原因となります。</li> <li>● 挿し込んだカギを持って扉を開閉しないでください。カギが曲がり、使用できなくなるおそれがあります。</li> </ul> </div>	<p>サムターンツマミを90°まわします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・解錠：タテ向き</li> <li>・施錠：ヨコ向き</li> </ul> <p>※扉の開き勝手などにより、回転方向が図とは逆の方向になる場合があります。</p> <p>※サムターンの他に、コインやカギで施解錠するタイプがあります。</p> <p>※両面シリンダータイプの場合、家屋側も道路側と同じ操作方法です。</p> <p>※サムターンの取り付けネジをはずし、簡易錠(コインキー/エマージェンシーキー)に切り替えできるタイプがあります。</p> 

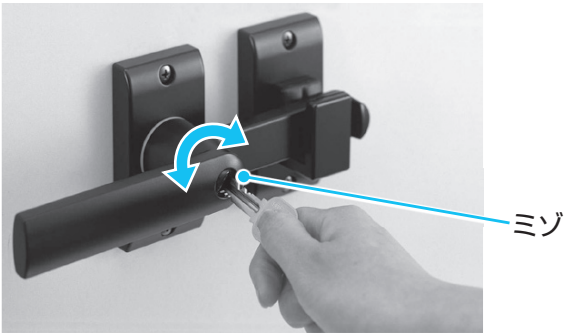
## ■コインキー

家屋側からコインなどで施錠・解錠します。

家屋側	
<p>カバー付きの場合</p>  <p>カバー</p> <p>ミゾ</p>	<p>押し板タイプの場合</p>  <p>ミゾ</p>
<p>カバー付きの場合はカバーをスライドさせ、コインをミゾに合わせて90°まわします。</p>	

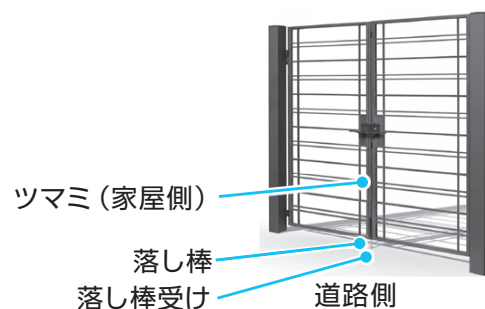
## ■エマージェンシーキー

家屋側からカギやマイナスドライバーなどで施錠・解錠します。

家屋側
 <p>ミゾ</p>
<p>カギやマイナスドライバーなどの先端をミゾに挿し込み、90°まわします。</p>

## 落とし棒の解除方法 (ツマミを引くタイプ)

落とし棒は、扉を固定する部品です。  
扉の戸先下部に付いたツマミで棒を上下させ、  
扉を固定・解除する仕組みです。  
落とし棒は種類ごとに操作方法が異なります。



### 第3章

門  
まわり

車庫  
まわり

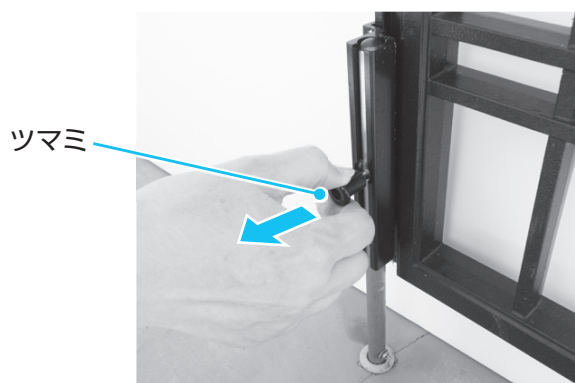
庭  
まわり

使い  
方

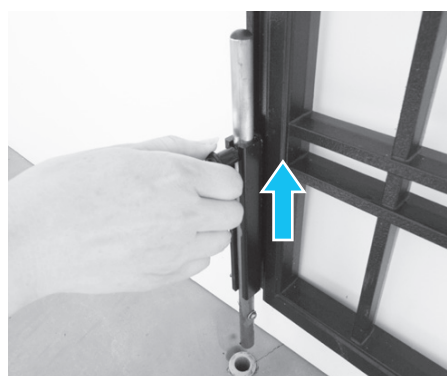
#### ⚠️ 注意

- 落とし棒の操作時に、指をはさんだり、爪を損傷したりしないようご注意ください。  
けがをするおそれがあります。

### 1 ツマミを引く

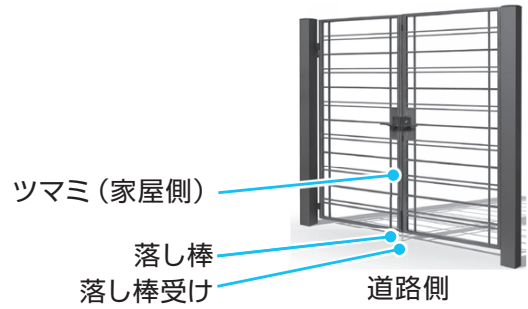


### 2 ツマミを上限までスライドさせる





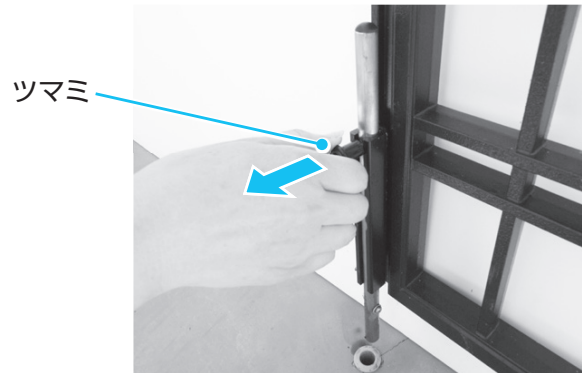
# 落とし棒の固定方法 (ツマミを引くタイプ)



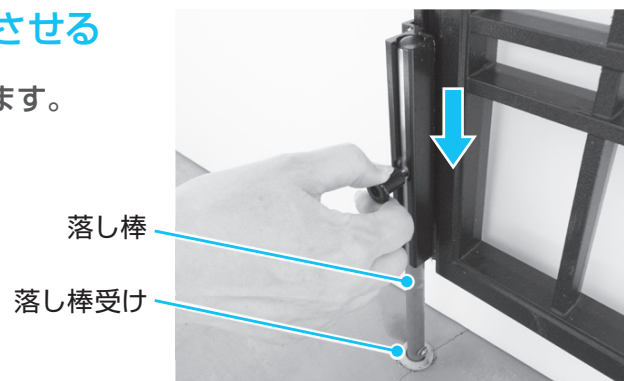
## ⚠️ 注意

- 落とし棒の操作時に、指をはさんだり、爪を損傷したりしないようご注意ください。けがをするおそれがあります。

## 1 ツマミを引く

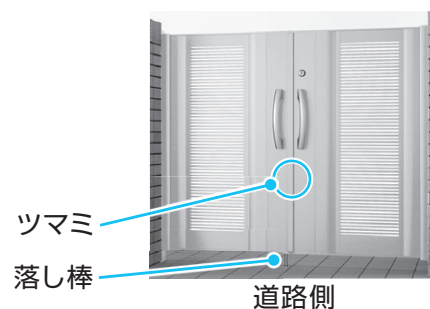


## 2 ツマミを下限までスライドさせる 落とし棒を落とし棒受けの奥まで入れます。



## 落とし棒の解除方法 (ツマミを収納するタイプ)

落とし棒は、扉を固定する部品です。  
扉の戸先下部に付いたツマミで棒を上下させ、  
扉を固定・解除する仕組みです。  
落とし棒は種類ごとに操作方法が異なります。



### ⚠️ 注意

- 落とし棒の操作時に、指をはさんだり、爪を損傷したりしないようご注意ください。  
けがをするおそれがあります。

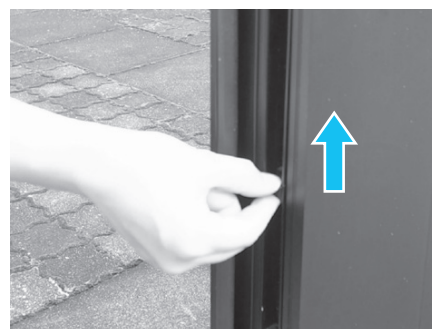
### お願い

- 操作後は、必ずツマミを押し込んで収納してください。  
収納せずに扉を開閉すると、ツマミが扉にあたり、破損するおそれがあります。

### 1 ツマミを引く

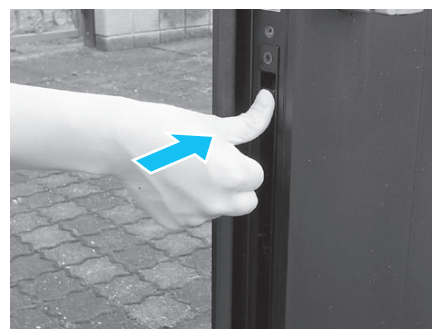


### 2 ツマミを上限までスライドさせる

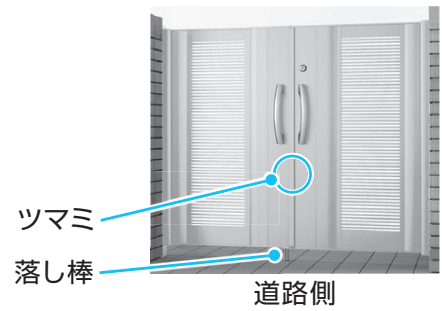


### 3 ツマミを収納する

ツマミをしっかり押し込んで完全に  
収納します。



# 落とし棒の固定方法 (ツマミを収納するタイプ)



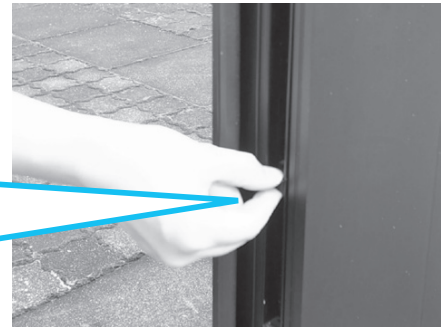
## ⚠️ 注意

- 落とし棒の操作時に、指をはさんだり、爪を損傷したりしないようご注意ください。けがをするおそれがあります。

## 🙏 お願い

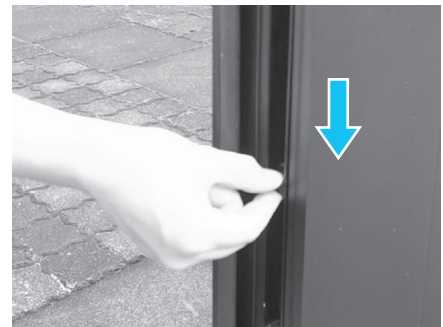
- 操作後は、必ずツマミを押し込んで収納してください。収納せずに扉を開閉すると、ツマミが扉にあたり、破損するおそれがあります。

### 1 ツマミを引く



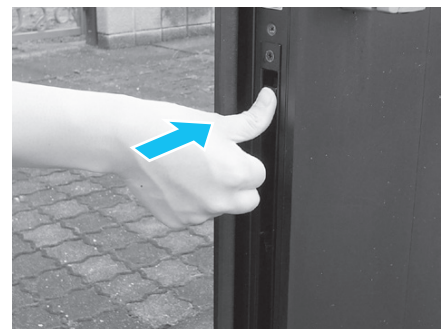
### 2 ツマミを下限までスライドさせる

※落とし棒を落とし棒受けの奥まで確実に  
入れてください。



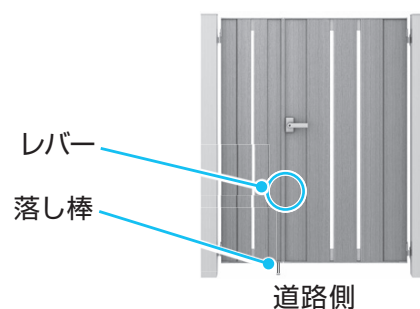
### 3 ツマミを収納する

ツマミをしっかり押し込んで完全に  
収納します。



## 落とし棒の解除方法 (レバーを操作するタイプ)

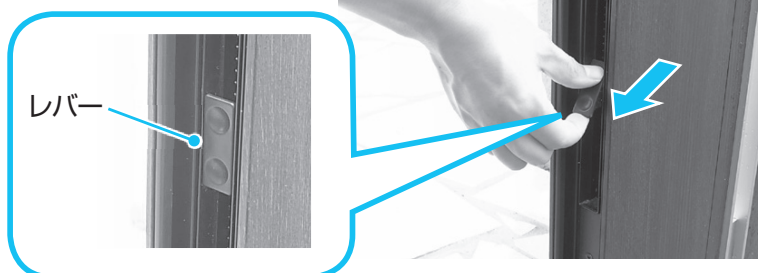
落とし棒は、扉を固定する部品です。  
扉の戸先下部に付いたレバーで棒を上下させ、扉を固定・解除する仕組みです。  
落とし棒は種類ごとに操作方法が異なります。



### ⚠️ 注意

- 落とし棒の操作時に、指をはさんだり、爪を損傷したりしないようご注意ください。けがをするおそれがあります。

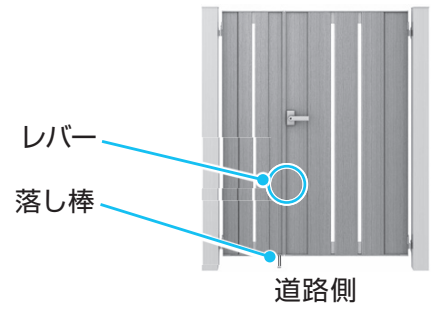
### 1 レバーの下側に指をかけ、レバーを立ち上げる



### 2 立ち上げたまま、レバーを上限までスライドし、レバーから指をはなす



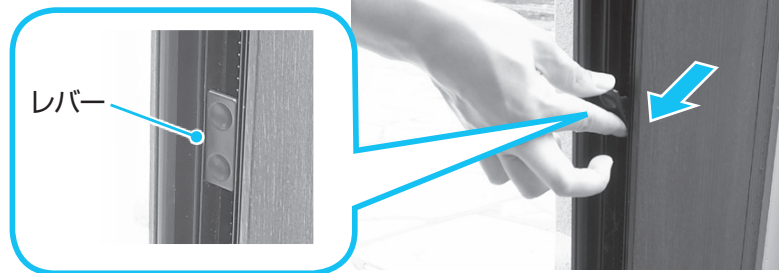
# 落とし棒の固定方法 (レバーを操作するタイプ)



## ⚠️ 注意

- 落とし棒の操作時に、指をはさんだり、爪を損傷したりしないようご注意ください。けがをするおそれがあります。

## 1 レバーの上側に指をかけ、レバーを 立ち上げる



## 2 立ち上げたまま、レバーを下限 までスライドし、レバーから指を はなす

- ※ 落とし棒を落とし棒受けの奥まで確実に  
入れてください。



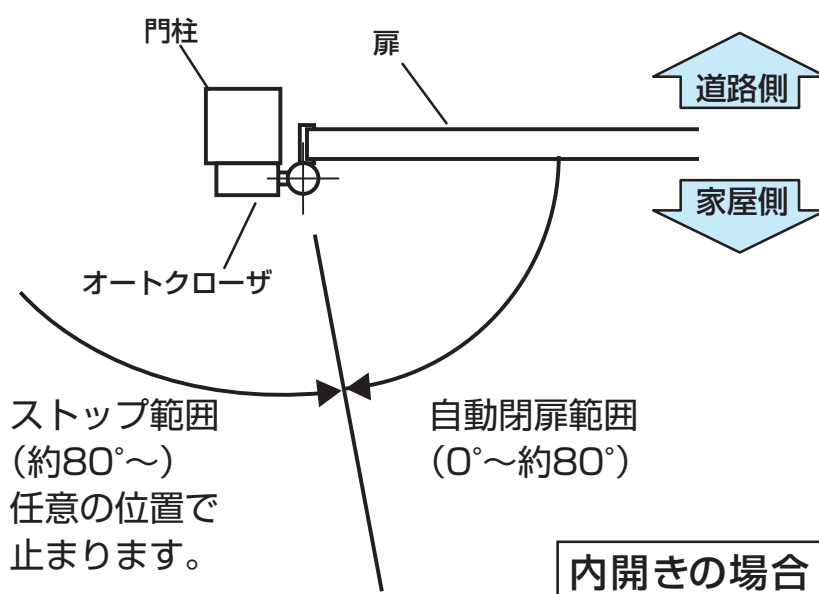


## オートクローザ（オプション）

オートクローザは、扉を開いた後、自動的に閉まる機能です。  
 またストップ範囲まで開くと、その位置で扉を止めることもできます。  
 扉をストップ範囲から自動閉扉範囲まで閉めると、再び扉が閉まります。



### オートクローザの自動閉扉範囲とストップ範囲



※建付け調整により若干範囲が異なる場合があります。